

迷ったら「#7119」

救急安心センターきょうとに電話を

急なけがや病気の時、救急車を呼んだ方がいいのか、自分で病院に行った方がいいのかなど、判断に迷うことがあります。そんな悩みや不安を解消するため、24時間365日、いつでも気軽に専門家に電話相談ができる救急安心センターきょうと（#7119）が10月1日10時からスタートします。

#7119では、看護師資格を持つ相談員が医師の支援体制の下で電話相談に応じます。

《消防本部》

どうしよう…
救急車呼んだ方がいいの？



家族が急な
病気やけが

#7119
相談員に相談



意識はありますか？
持病はありますか？
脈は？

様子を見ましょう

すぐに119番
してください！

緊急性高

緊急性低

アドバイスに基づいて
119番通報

アドバイスに基づいて
後日受診

！ どうして#7119を 導入するの？

◆市民の皆さんの悩み・不安を解消
自身や家族が急な病気やけがをしたときは、とても不安な気持ちになります。24時間365日いつでも専門家から適切なアドバイスを受けられるようになることで、心細く、不安に思っている市民の皆さんに安心を提供できるようになります。また、高齢化が進む中、在宅医療への不安を解消するサポート体制を充実させます。

◆救急車の適正利用

高齢化や軽症者と思われる人の救急車の利用などで救急車の出動件数は年々増加しています。#7119を導入することで、軽症者と思われる人の救急車の利用を判断し、本当に救急車を必要とする人の元にいち早く救急隊が駆けつけることができ、これまで助けられなかった命を救える可能性が高まります。

一方で「なんとなく様子がおかしいけど、こんな症状で救急車を呼んでいいのだろうか」「救急車を呼んで近所の噂になってしまったら…」「夜中に救急車がきたら近所迷惑になりそう…」といった理由でこれまで119番通報をためらう人がいました。しかし、その症状は

一刻を争うサインかもしれません。専門家が症状を聞き取ることで、一刻を争う場面かどうかを判断することができ、隠れた重症者を発見し、手遅れにならないように迅速な救急搬送につなげることが可能になります。

！ #7119の使い方は

救急車が今すぐ病院など、迷った時に#7119に電話してください。相談員が状況を聞き取り、適切な対処法や救急搬送の要否などについてアドバイスします。相談内容から緊急性が高いと判断された場合は119番通報を促し、緊急性が低いと判断された場合は、適切な医療機関、受診のタイミングを案内します。また、相談者が希望する場合は、受診可能な医療機関を紹介いたします。



▲京の救急受診ガイド。下コードからダウンロード可。

緊急と思ったら迷わず119番！

#7119はあくまで看護師資格を持つ相談員による相談、アドバイスを目的とするものです。「呼吸をしていない」「脈がない」「意識がない」「大量に出血している」場合など、自身が緊急と思ったときは、ためらわず119番通報して救急車を呼んでください。

また、#7119は全年齢が対象ですが、15歳以下の子どもの「急な病気」「けが」については、必要に応じて小児科医・看護師の専門的対応が受けられる小児救急電話相談事業（#8000）を案内します。

◆それぞれの番号の特徴

- #7119 救急安心センターきょうと**
 - ◆救急車を呼んだ方がいいのか、今すぐ病院に行った方がいいのかなど迷ったとき
 - ◆専門家に自身の体調について聞いてもらい、不安を解消したいとき
 - ◆自分の症状にあった医療機関を知りたいときなど
 - ※ 24時間 365日受け付け
- #8000 小児救急電話相談事業**
 - ◆小児の「急な病気」「けが」について相談したいとき
 - ※平日・日曜・祝日の19時～翌朝8時、土曜日の15時～翌朝8時。時間外は#7119へ



救急救命士
林 裕次さん

※写真はイメージです